

## 6 リーディングプロジェクト



## 大規模園芸団地構想

収益性の高い農業振興を推進し、生産性の高い経営推進体を育成します。

- 集落営農組織を主体とした生産性の高い経営体を育成し、農家所得の向上を目指します。
- 首都圏等から就農を希望する方の受け皿となる経営体を目指し、集落営農の担い手や事務員の確保を具体的に進め法人化・組織化を推進します。
- 農業生産法人等を主体とした貸出農地を活用し、農地中間管理事業を積極的に推進するとともに、耕作放棄地対策にも取り組みます。



生産者



新規就農者



| ターン者



農業研修者



地域おこし協力隊



地域住民（多様な担い手）



青年就農給付金（準備型）・農の雇用・地域おこし協力隊制度をフル活用し首都圏から遠野市へ積極的に担い手を呼び込む受け皿として整備

## 大規模園芸団地



- ①生産性の高い農業の実現 ②農村集落の活性化 ③首都圏から地方への人口移動 ④農業による雇用の創出 ⑤都市と地方の交流人口の拡大

【目標】 野菜生産額 3.7 億円【H26】 → 5.2 億円【H32】

## いわて遠野牛生産拡大（需要に対応した増頭対策）

人と家畜があり、共に土を守り育ててきた遠野型農業は和牛増頭と耕畜連携の取り組みにより新たな一步を踏み出します。

地域の主要農産物である肉用牛の生産向上を中心とした、生産体系の構築と未来に繋がる地域農業の発展に努めます。

人・基盤・放牧・耕畜連携を四つの柱に、未来に向けた生産体系の確立を推進します。

### 『肉用牛増頭に向けた四つの柱』

#### i 牛づくり・人づくり支援

- ①家畜導入(繁殖・肥育)―JA事業
- ②新規就農者等支援(導入加算・牧場利用料)
- ③三者連携生産強化対策(普及販促)

#### ii 生産基盤支援(畜舎等)

- ①繁殖牛舎等建築整備支援―JA事業
- ②肥育牛舎等建築整備支援

#### iii 肉用牛増産対策推進事業(公共牧場)

- ①増強整備(用地:大規模既存草地)
- ②補完整備(機器及び保管施設等)
- ③改修及び更新(環境、看視舎及び機器)

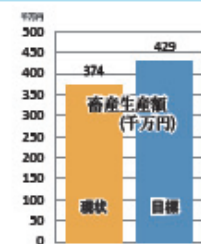
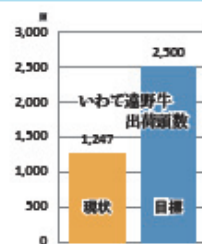
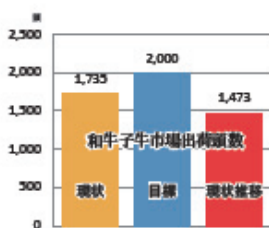
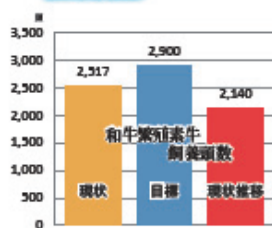


#### iv 耕畜連携推進事業 (家畜堆肥・粗飼料生産流通体制整備)

- ①市営堆肥センター機能強化(拡充工事)



#### 施策目標



### 木質バイオマスの活用

遠野市は面積の約83%を森林が占め、森林資源に恵まれています。  
 森林整備環境負荷が少なく再生可能な資源である未利用木材を木質バイオマスとして利用し、低炭素化社会への取組を推進します。

- ・学校や庁舎など市内公共施設等への木質ボイラーの積極導入
- ・民間施設への木質ボイラー等の導入支援
- ・林地及び製材所等工場における未利用材の熱エネルギー等としての利用促進
- ・市民が間伐材を山から出して売る仕組みづくりの推進

